

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向
11月

■漬物製造 【県下全域】

政治、経済等、明るいニュースがなく、消費の低迷が続いている。そのため、相変わらず厳しい状況。

■豆腐製造 【県下全域】

先月から、大手との取引も順調に進み、例年売上が増加する冬期に向けて良い軌道に乗っている。

■めん類製造 【県下全域】

販売促進の一環として、年越しそば、年明けうどんに続き、今年から「年の瀬ラーメン」を全国的に認知展開を図ることになった。

■牛乳小売 【県下全域】

市場全体が悪く、各量販店、スーパーでは安売りに走っている。牛乳離れによる廃業が目立つ。

■製材 【県下全域】

悪い状況は変わらないが、エコポイント等の政策により、今後に期待がもてる。

■印刷 【県下全域】

11月の売上高は10月と比較し、各社若干マイナスの模様。

■生コン製造 【県下全域】

全体的に、設備投資等は未だ横

這い状況だが、設備投資（民間）等上期より具体的に物件名もでてきており、少しずつだが上昇傾向。

■電気鍍金 【千葉】

月の始め少し上向いたが見えたが、落込の度合いは早い。年末に入り、この先どうなるのか不安。

■鉄工業 【千葉】

これまでは、徐々に回復傾向が続いているとの感触であったが、直近に至り停滞感も漂い、景気の踊り場の雰囲気支配的になってきていることが気掛かり。

■機械部品製造 【野田】

昨年より厳しく、一段と深刻さを増している。建設、機械加工、IT基盤関係は受注減で特に厳しい。

■機械部品製造 【流山】

業種によってまちまちであることに変化がなく、安定した発注が続かない状況にも変化がない。円高状況が続きすぎる。業態によってはこのままでは危険な状態になってしまつ。

■採石業 【県下全域】

南本牧のコンテナ埠頭の埋立て工事の用土に産業発生土を予定したが、納入見込みが立たないために、千葉県産の山砂やズリの需要が見込まれてきている。また、築

地市場の移転先の晴海の埋立て用の資材として、千葉県産の資材の汎用が見込めるなど、多少の兆しが見えてきている。

■採石業 【県下全域】

公共事業投資がなく、骨材需要が減少し、各企業は事業運営に苦慮している。

■総合卸売 【千葉県・東京都】

ごく一部に販売価格上昇の業種もあるが、総じてデフレ状態は変わらない。電材・建築資材・事務機器・設備投資未だ低調で、受注等年度内回復の見込み立たない。

■建築材料卸売 【県下全域】

デフレ、売上減、収益減、一部の政策枠入れ部分以外は、先行きメド立たず。一部民需が出てきており、10・11月と前年落込み率が小さくなり、小康状態を保っているが、これも一過性のものであり、官需の息切れが必至で、再び落込むことは避けられない。

■小売 【柏】

気温の低下とともに、冬物衣料品に動きがあるものの、価格の高いものは売れていない。量販店では既に冬物の一部を値下げしており、収益は悪い。

■電気機器小売 【県下全域】

12月よりエコポイントが半減することにになり、エコポイント特需で業界あげて大変な好況になった。

■青果小売 【千葉市】

4ヶ月連続の高値となり（相場）資金面では落ち着いてきた。しかし、数量的には例年並みの動きはなく、実際には減収傾向。このまま高値相場が続くと冷凍食品にシフトされかねない。

■中古車仕入・販売 【県下全域】

直販低迷ムード広がる外的要因さらに悪化。深刻なタマ不足も響く。

■小売 【東金】

一時、冬らしくなつて衣料品関係の動きがあったが、後半は、近隣競合はまだこの時期なのに価格を下げてセールが始まっている。食品関係は、農作物が不作で価格が上昇したため、今一だった。

■印鑑小売 【県下全域】

事業所などの減少や、少子高齢化等による、市場の縮小とデフレ化が業界全体の姿。

■小売・サービス 【柏】

底で低迷している事業所が大多数のようだ。

■建設揚重 【県下全域】

少し動きは出ているが、低価格

が続いている状況。

■害虫防除 【県下全域】

不景気・猛暑のため、蜂駆除が減少した。外来種の依頼が増加。

■一般廃棄物処理 【千葉市】

昨年11月は、景気はかなり落ち込んだ状況だったが、本年は家電リサイクルのエコポイントの関係もあり、昨年と比べると大幅アップ、先月と比べると若干好転の状況。

■土木建築サービス 【県下全域】

事業量は本年度も減少し厳しい状況は変わらない。5年に一度実施される交通情勢調査委託が県より発注され、やや受注が増加した。

■ソフトウエア 【県下全域】

依然として厳しい環境である。組合の事業活動として、11月9日に設立20周年記念を実施。

■建設業 【県下全域】

建設業における雇用等の実態調査によると、若年者の雇用確保が難しいことがわかった。

■貨物運送 【野田】

取引高は前年、前月と比較していずれも横這いとなり、年末へ向かつての慌ただしさのせいか不満感を感じる。

■輸出入業 【県下全域】

11月は前月比、前年同月比も減少。